1　国語

学校番号	１００８

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２	年次	３年前期
使用教科書	古典Ｂ「高等学校　改訂版　古典Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	即戦ゼミ「新国語問題総演習」（桐原書店）　他						

1 担当者からのメッセージ

・古典文学を鑑賞することで、ものの見方・感じ方・考え方を広くしましょう。
・古典についての理解や関心を深めることで、人生を豊かにする態度を養いましょう。
・物語の主題や評論・随筆の主張を理解するために、語彙力や文法の知識、古文常識をしっかりと身に付けてください。
・現代語訳に終始することなく、その文章が拠って立つ歴史的な背景や作者の人物像を踏まえた解釈を行います。
・言語文化の変遷について理解を深め、中国の文化や現代の日本語と古語との繋がり・相違点を考察します。
・課題をまとめて話し合いや発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・作品の内容や構成、登場人物の心情を適確に理解することができる。
・歴史的な背景や作者の人物像を踏まえ、文章を解釈することができる。
・言語文化の変遷を理解し、中国の文化や現代の日本語と古語との繋がり・相違点を考察することができる。
・古典の世界と現代社会との違いや共通点を見出し、ものの見方を広げることができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	説話	教材: 『今昔物語集』 「やさし蔵人」	○			◎	○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 d:平安朝の仕組みを理解し、登場人物の心情を読み取る。 e:文の組立てや文法事項について理解している。	a、e: 行動の観察と確認 d:記述の確認及び定期考査
	随筆(一)	教材: 『枕草子』「宮に初めて参りたるころ」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を適確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を適確にとらえている。 e:言葉の意味を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	物語(一)	教材: 『源氏物語』「須磨の秋」	○			◎	○	a:情景と心情が一体化した物語の表現の魅力を味わおうとしている。 d:音読を通して文章を味わう。登場人物の心情を適確に読み取り、物語中の人間関係の諸相を理解する。 e:文章の形態や文体の違いによる特色、和歌の役割と効果について理解している。	a: 記述の点検と確認 d、e: :記述の確認及び定期考査
	日本の詩(漢詩)	教材: 「行行重行行」 「貴子」 「石壕吏」	○			◎	○	a:漢詩の決まりや表現の効果について考えようとしている。 d:音読により詩を味わう。作者の心情を読み取る。 e:押韻や対句、詩の形式を理解している。	a、d、e: 行動の観察と確認
	評論(一)	教材:『俊頼髄脳』 「歌のよしあし」	○			◎	○	a:作者の主張を表現に即して読み、適確に理解しようとしている。 d:作者の主張を表現に即して読み、適確に理解している。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	物語（二）	教材: 『大鏡』「三舟の才」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えようとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えている。 e:文法や敬語について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	評論（二）	教材: 『玉勝間』「師の説になづまざること」 『去来抄』「発句論」	○			◎	○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしていることを理解する。 d:古典に対する合理的、実証的な考え方を理解する。俳諧に対する考え方を理解する。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、e: 記述の点検と確認 d: 記述の確認及び定期考査
	日記	教材: 『紫式部日記』「日本紀の御局」	○			◎	○	a:本教材に描かれた紫式部の人物像と、他の作品で描かれたそれとを比較し、作者の人間性を理解しようとしている。 d: 本教材に描かれた紫式部の人物像と、他の作品で描かれたそれとを比較し、作者の人間性を理解している。 e:古典を読むのに必要な古語や文法事項などを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	三国の世界	教材: 『三国志演義』「張飛、大いに長坂橋を闇がす」 同「諸葛孔明の智略」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。